

蚊・マダニ対策してますか？



● 蚊媒介感染症

- 蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。
- 日本においては、日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症としてみられていますが、**デング熱**に関しては2014年に**国内感染例**が報告されました。
- デング熱**は急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、骨関節痛、吐き気・おう吐などの症状が見られます。

● ダニ媒介感染症

- ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに咬まれることによって起こる感染症のことです。特に**マダニの活動が盛んな春から秋**にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。
- 昨年、**福井県内で初めて**、マダニによるダニ媒介感染症である「**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**」の患者が確認されました。
- SFTS**の主な症状は発熱、消化器症状(おう吐・下痢)で、重症化して死亡することもあります。

これらの感染症についてどのような対策をとればよいでしょうか。

越前町国民健康保険 織田病院 の 感染管理認定看護師、高阪 奈緒美さん に話を伺いました。

☆☆ 感染管理認定看護師からのアドバイス☆☆

<蚊媒介感染症>

Q1. デング熱は人から人にうつるの？ A. 人から人にはうつりません。蚊に刺されることによって感染します。

Q2. デング熱は日本でも流行っているの？

A. 流行地は熱帯・亜熱帯地域で、現在日本では流行していませんが、2014年には東京の代々木公園等での感染が疑われる国内感染例が報告されました。媒介するヒトスジシマカは青森県以南で普通にみられる蚊です。

<予防策>蚊に刺されないようにすることが一番の対策です。

- 肌の露出を避け、虫除け剤などを使用する。
- 蚊が発生しないように、家の周りに水の溜まる物を置かない。

デング熱を媒介する蚊



<ダニ媒介感染症>蚊媒介感染症と同様に咬まれない事が重要！

マダニに咬まれないようにするポイント



- 肌の露出は避け、長袖長ズボンを着用する。
シャツの袖は手袋の中、ズボンの裾は靴下に入れる！
- 足を完全に覆う靴を履く（サンダルは×）
- 虫除け剤を使う！
- 明るい色の服を着る（マダニが付いていたらすぐ分かる）
- 作業後は、上着を外で脱ぎ、シャワーや入浴で、マダニがついていないかチェックする！



もし、マダニに咬まれたら！

- 無理に引き抜こうとせず、すぐに医療機関で受診！（引っ張ると口器がちぎれて身体の中に残ります）
- 咬まれた後、数週間は体調の変化に注意！

（越前町国民健康保険 織田病院 高阪 奈緒美 氏）

もっと詳しく知りたい方は、次の厚生労働省HPをご覧ください。

蚊媒介感染症

検索



ダニ媒介感染症

検索



【担当】内容へのご質問やご意見はこちらへ → 福井県丹南健康福祉センター 地域保健課

Tel (0778) 51-0034 Fax (0778) 51-7804 E-mail t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp 配信希望（停止）はメールでご連絡ください。